

令和 5 年度 青森県立大湊高等学校第 1 回学校評議員会 議事録概要

1 日 時 令和 5 年 6 月 13 日 (火) 8 時 50 分～9 時 40 分

(公開授業 9 時 50 分～9 時 40 分)

2 場 所 青森県立大湊高等学校 会議室

3 出席者 ・学校評議員(4 名)

学校評議員 A(地域の関係機関で活動をされている。本校卒業生)

学校評議員 B(教育に関する理解、及び見識を有する。元 PTA 副会長)

学校評議員 C(通学区域内にある町内会で活動をされている。本校卒業生)

学校評議員 D(教育に関する理解、及び見識を有する。保護者)

・本校教員(6 名)

校長 教頭 事務長 教務部主任 生徒指導部主任 キャリアデザイン部主任

4 欠席者 なし

5 配布資料 (1) 令和 5 年度 学校要覧

(2) 令和 5 年度 経営計画

(3) 教育課程の届出書

(4) 大湊高校スクール・ミッション及びスクール・ポリシーとグランドデザイン

(5) 進路指導部資料 (令和 4 年度卒業生の進路状況、令和 5 年度生徒の進路希望調査)

(6) 生徒指導部資料 (令和 5 年度春季大会・高校総体結果)

(7) 新聞で見る大湊高校生の活躍

(8) 各年次通信

(9) 令和 4 年度 PTA 会報誌「いぶき」、令和 4 年度同窓会会報誌「やまびこ」

6 議事内容 (進行：教頭)

(1) 会議に先立ち、校長から学校評議員の方々へ委嘱状が手渡された。

(2) 校長挨拶

本日はお忙しい中、朝早くからありがとうございます。コロナが 5 類に移行しまして、学校も 4 月 1 日からマスク着用は個人の判断ということになっております。私は 4 月 1 日からマスクを外して、なるべく表情を先生方に、そして生徒に見せるようにしております。ただ、それぞれ花粉症だったりとか、やはりアレルギーだったりとか、様々な事情でマスクをしている人もいますし、生徒もまだまだマスクをしている人も多いです。ただ学校の活動はずいぶん戻ってきておりまして、部活の練習試合等もやれるようになっていきます。高校総体も普通に行われました。学校活動はだいぶ元に戻っているのですが、コロナの前に全部戻すかというところではなくて、コロナを経て、これは別の形にした方が良かったなとか、これは実は必要なかったのだな、とか気づいたこともたくさんあります。そのため、コロナの前に戻すのではなくて、コロナの後に私たちは学校全体を、社会全体を進めていかなければいけないのだなと思って、今学校運営をしているところです。

年数回の学校評議員会を私はとても楽しみにしています。先生たちが一生懸命説明することを評議員の方がきちんと聞いてくださって、そして認めてくださって、応援してくださるということが、私たち学校の中だけで言うと、どうしても当たり前とか、やらなきゃみたいな使命感でやっていたことが、外の言葉で勇気づけられたり、頑張ろうと思う原動力になったりします。そして、私たちにはない視点で「ここって大事じゃないですか」とか、「こういうことも大事にしてくださいね」などとおっしゃれることが本当に的を射ていて、勉強になることもすごく多いです。本日もどうかよろしくお願いします。

(3)令和 5 年度の教育活動について

ア 令和 5 年度学校経営方針【校長より】

目指す学校像を先生たちと一生懸命考えて、「日本で一番悩める学校」というあえてネガティブなキャッチフレーズにしました。生徒にとっては悩むことがいけないことと思うかもしれませんが、そうじゃないということを伝えていきたいと考えています。「主体的に」と今まで言ってきましたが、その前段階で

本気で3年間悩み、それを私たち教職員は認める、という学校教育活動を展開していきたいと考えております。これは若手の先生たちからのアイディアで決めたキャッチフレーズです。それを基にしながら、今年度学校全体を動かしています。具体的な取組は色々なことをやりますが、一番大事なのは授業ですので先生たちの労力をまずそこに割いていただきたいと考えています。良質な授業をしてくださいということを先生たちに伝えています。

2つ目は下北で唯一の総合学科であるということです。今までは系列はあるものの、本来の総合学科のような他系列の授業を選べるみたいなことを展開していませんでした。ただ、本来の総合学科というのは大学みたいな感じで、自分で時間割を組み立てるものです。しかし、全部自分で時間割を組み立てるとなると、資源や教室の問題から全て自由な形とはできないのですが、ただ今までよりは自分でやりたいことを考えて時間割を選ぶということを、今年度は計画をして次年度以降の教育課程に盛り込んでいく予定でおります。

3つ目は授業以外の学びを充実させています。そして、これには外部資源が必要です。外部のお金も、人もどんどん投入して、生徒たちにさまざまな機会を与えているつもりです。先日、三菱未来財団に応募したお金で200万円がおりました。それを使いながら生徒たちを様々な地域に連れて行ったり、防災の勉強をさせたり、ということを今展開しているところです。

4つ目の多様な生徒の支援というのは、本当に定員割れが続いてそして成績の差が非常に激しいです。その大きな幅の中で、生徒たちは育っていきます。そのため、生徒同士で助け合う力をつけさせながら、かつ、成績下位の子だけではなく、成績上位の子に対しても支援をしながら教育活動を行うことが多様性の支援だと思っていますので、そこを先生たちにはしっかりお願いしますという話をしています。

5つ目ですが、昨年度教員からの発案で言語能力のテストをしました。子供たちは今、言語能力がものすごく低下しています。少し長い文があると主語がとれなくなっているという事実が分かってきました。そのため、話をする時はなるべく短めに話すとか、生徒にしっかり伝わる方法を模索しています。一方で何度も文章を書くという経験や、「はい」「いいえ」の返答ではなく、文章で話す体験を授業の中に入れていき、言語能力を育てる取組を今年度しております。

教職員に求めることは読んでいただくと分かるのですが、1番最後に「教育に科学を」という文言を入れました。私たちはどうしても頑張るとか、一生懸命やるとか一般的な言葉で語りがちですが、やはりデータでどれだけ伸びたのか、あと何が足りないのかということ、数字を利用しながら学校経営をやっていると思っています。先生たちにも数字にこだわってください、ということを今年度強くお話をして学校経営をしています。

イ 各年次・分掌の重点目標と取り組み状況

①教務部

今年度から ICT 活用部と融合し、この教務部は本来の業務と研修、ICT と3つの分掌が融合したような形で、やるべきことが多岐に渡るとい状況にはなっておりますが、生徒にとって効果的な授業をつくり上げるために活動しております。

1つ目の課題として、教育課程を編成することに重きを置いております。現2年次から系列選択においては、人文と自然が融合し、3年次で選択するように変更しております。また、昨年末から変更を重ね、今の2年次が3年次になる時に自由選択科目というのを開講することになっています。現時点で自由選択科目は21科目、そしてそのうち17科目が学校設定科目として開講しようとしているところです。それを生徒たちが自分の進路を見据えて、考えているところです。

2つ目は、教員の資質向上に向けての教員研修を充実させたいと思っております。昨年度から互見授業と研究授業を進めております。特に互見授業については本年度3回実施し、お互いに授業を見合って自己研鑽と授業改善に努めていく体制をつくっています。また、ICTの活用も進んでおりますので、端末の使い方や使わせ方もお互いに研究して、より良いものを吸収しながら進められるようにしております。

3つ目の地域に開かれた学校づくり、地域と連携した学校づくりについては、ホームページを随時更新しておりますので、ぜひご覧になっていただければと思います。

最後に校務における ICT 環境の整備についてです。既に生徒一人一人に一台の情報端末は与えられておりますが、まだまだ問題もありますし、使用の仕方や、より良く活用できていないところもあると思います。そのような課題に対して、私たち教員が研修を重ね、授業を効果的にできるよう努めております。また、校務支援システムが来年度から本格的に動いていくことになります。これは、県内全部の学校で成績処理や生徒指導要録等の作成を共通のシステムで行うものであります。本格稼働できる状況にないのも現状としてありますので、早急に準備を進めて参りたいと考えております。

②生徒指導部

現状と課題について、ここ数年で生徒の様子の変化をととても感じています。考えや意識、行動の未熟さを感じる生徒の数が多くなり、友人関係が上手く築けないとか、学校生活の流れに乗れない悩みを抱えている生徒がかなり多くなっております。今年度も年度初めからそのような課題も出てきていますので、対応していかなければならない現状になっています。

また、部活動等について、新聞を見て感じた方もいると思うのですが、学校単体で試合に出ることができないような状況になっています。先日行われた高校総体では3つの部活動が合同チームという形で出場しました。

課題等はあるものの、本校に来る生徒は素直で、学習や部活動に一生懸命取り組んで、頑張っている生徒も多くいますので、個性をしっかりと引き出してあげる環境をつくるのが本校にとっては非常に必要な部分だと思います。生徒が主体的に取り組む諸活動の推進ということで、生徒たちからどんどん話を出してもらって、様々な経験を積ませるということは本年度も継続してやっていきたいと思います。また、学校生活アンケート等も含めて、クラス担任、年次と連携しながら週1回の分掌部会で生徒についての情報交換をしながら、悩みを抱えている生徒たちを支援するところも、今年度も継続して行きたいと思います。併せて、スクールカウンセラーの方や、ソーシャルワーカーの方との連携も引き続き行っていますので、保護者の方も含めて、丁寧に対応していきたいと思っています。放課後の諸活動の見直しについては、実際に生徒数が少なくなっている関係もありますが、部活動の参加がかなり検討材料になっております。最後に、健康を保つための意識向上について、コロナ禍が進んで、体調を崩しやすい生徒や、それが欠席に結びついてしまう生徒もとても多くなりました。徐々に改善されていったと思うのですが、生徒自身で自分の健康管理をしているという意識を持つことが今まで以上に必要であるのかな、と思います。それについては、保健室の養護教諭の先生と連携して進めていければと思っています。

③キャリアデザイン部

キャリアデザイン部という名前で、イメージしたことがないような名称になっているのですが、今年度従来の進路指導の活動に加えて、探究活動、キャリア教育の要素を担当する分掌となっています。

進路状況について、今年度3月に卒業した生徒は大きく分けて進学が68%、就職が30%となっております。本校は例年進学が7割、そして就職が3割ということで推移しておりますので、大幅には変わっていないかなと思っています。また、今年の4月に実施しました進路希望調査の結果から、国公立大学を志望する生徒が、1年次から順に15名、25名、28名の数字になっております。一方で、美容師や調理師といった看護医療系以外の専門学校という項目では、人数が23名、37名、23名となっております。この数字は比較的大きな数字にはなっているのですが、実際、進路状況をみますと、専門学校はほぼ100%進路達成します。しかし、専門学校というのは入学後の進路がほとんど決まっていて、その道で自分の生涯を生き抜いていくのだということがないと、本来その専門学校はお勧めしません。しかし、そこまでの覚悟を持ってこの人数が進路選択をできているのかということ、そこは生徒の意識の支援が必要なかなと考えています。

昨年度3年生について、4月時点で進路希望している人数と、実際に進路決定した人数を比較すると、実際に志望したけれども、達成できなかったという人数が多いのが、国公立大学の志願者になります。今年の4月もそうですが、やはり20名近い生徒がいるのですが、実際に達成できているのは、例年10名前後になってしまっています。4月の調査で、実際どこまでしっかりと進路選択ができるのかということ、意外と悩んでいる生徒が多く、自分の志望を変えて、最後決定したという生徒が多いので、今後の課題として、そういった生徒をいかに少なくするか、そして最終的には一人でも多くの進路達成者を出すということを大きな目標として考えて取り組んでいます。

また、今年度キャリア教育という部分も役割として入ってきておりますので、そういった活動をしっかり学校内で行うことにより、生徒の職業観や勤労観といったキャリア形成に取り組んでいきたいと思っています。そして、しっかりと進路選択をした上で、最後に学力をつけさせて、希望進路の達成をしてもらえればと考えております。

重点目標、重点課題について、3つほど挙げさせていただいております。

1つ目は、総合学科の特性を生かした活動の充実と進路指導の実践です。本年度は1年次でやる「産業社会と人間」について、そして2・3年次で行う「針路学」という総合的な探究の時間の活動について、外部機関との連携強化を役割として担っていますので、さまざまな外部講師を呼んだり、1年次であれば地域の企業の方と様々な連携したりという活動を充実させることで、生徒のキャリア形成につなげていきたいと考えております。

2つ目のより広い視野を持った進路選択を可能にするキャリア形成の支援ということで、「外学び部」

という名称で、課外活動について、外部に生徒が出かけていって、さまざまな講演を聞いたり、ボランティアをしたり、という学校外での学びという活動を「外学び部」と呼んでおります。また、スキルアップ事業という様々な課外活動をする、県の方でスキルアップという単位認定をする制度があります。そちらの方にもほぼ生徒を全員加入させまして、一つ目標を持たせた形で外での活動に取り組ませているというところになります。

3つ目についてはスタンダードな進路指導部としての役割や目標となるのですが、昨年度まで行っていた活動をしっかり引き継いで、より計画的な形で取り組んでいければと思っております。進学だけでなく、就職・公務員に向けた活動も様々行っております。また、本校の進学する生徒の約9割近くは総合型、学校推薦型での受験を希望しています。そのため、生徒が面接、小論文、志望理由書を作るという活動が出てきますので、学校全体で一人一人に対して支援するという体制をとっております。今年度も早期に開始して、しっかりと生徒の支援をしていきたいと考えております。

ウ 学校評議員からの御提言と意見交換

①学校評議員 C

部活動の件で先ほど加入率が減ってきているということと、他の学校も減っていて合同でチームを編成してという話がありましたけれども、やはり地域全体で、例えば親の経済的な負担とかが原因になっているのかなということを考えました。また、小・中学校でも放課後になると、学校を離れて活動を行うようになっており、これが高等学校でも学校単位ではなく、市のクラブチームみたいな形で練習するという話は出ているのでしょうか。

→ [回答(生徒指導部主任)]

部活動加入率について、全校生徒が減ってきているというのがありますが、あとは経済的な部分もあるかとは思います。あとは今年新たに東通のスクールバスが土曜日と日曜日に出ないという様々な要因が重なったことだと考えています。また、ここ数年で部活動にいろんな制限が入っているので、部活動に対しての意識が子どもたちもやはりここ数年で大きく変わってしまったのかなと感じています。小学校の部活動も数年前からなくなり、数年前から部活動に対して取り組むという状況が、高校に来てからではなくて、もう小学校、中学校から変わってしまっているのかなと思います。

また、クラブチームというのは、実際この地域で高校生として活動しているものはないと思います。今後何か計画があるとか、そういう予定になるというの、今のところ聞いてはいない状況のため、やはり合同チームという形になってしまうのかなと感じています。

②学校評議員 D

今、私の娘が3年次にいます。先日オープンキャンパスの参加届を提出する際に、押印をもらいに行ったらしいのですが、他の先生はポンポン印鑑を押してくれる中、ある先生が「なんでこなの?」「なんでそう考えるの?」等、色々聞いてくれたので、本人はどう思っているか分からないですけど、親としては一環の作業ではなくて、ちゃんと生徒と向き合っていてやってくれているなと思ってすごくありがたいと思っています。今後もそういう指導はよろしくお願いします。

→ [回答(教務部主任)]

ありがとうございます。

生徒指導部について、ソーシャルワーカーとか、学校に来られない人の相談というのは今現在何件ぐらいあるでしょうか。

→ [回答(生徒指導部主任)]

スクールカウンセラーの方とは、相談に加えて、その後 HR 担任と振り返りをするという時間を作る関係で、1日に2〜3人ぐらいでしか対応できない状況にあります。それでも、やはり希望する生徒はおります。

学校経営方針の読ませる指導、書かせる指導というのはやはり今、高校生はほとんどが携帯電話のやりとりで、1対1の会話がすごく不得意だと思うので、すごく良いことだなと思っています。また、教職員に求めることの「生徒に任せて、やらせてみてください。失敗した時に支援をお願いします」というのは、やはり失敗してモノを覚えるというのをこの学生時代から覚えておけば、社会に出てから一つ失敗してもそこで崩れないで生きていけるため、良いなと思いました。そのため、今後ともできれば続けて欲しいなと思っています。また、「無駄話ができ、お互いを尊重し、助け合えるような職場」というのが、私ども

の職場でも、本当に些細な無駄話で色々なアイデアが生まれているので、これは続けてほしいなと思っています。

→ [回答(校長)]

ありがとうございます。頑張ります。

③学校評議員 B

先日、高総体の県予選があって、とある競技の審判の立場で参加させてもらいました。高校生はみんなすごくさわやかな挨拶をしてくれたり、こちらが何か指示を出したときに、「はい」と返事をしてすぐに指示通り動いてくれたりということがあったのですが、時々ちょっと危険な場面もあり、ちょっとした想像力とか考える力があれば、回避できそうなところもあったので、そういうところが少し気になって見ていました。

また、ニュースで見かけて、すごく気になっているのは、チャット GPT の取り扱いについてです。これについては、ここでは気になっています、心配していますということだけ伝えておきます。それから同じく気になっているのが、闇バイトについてです。むつ下北地区は治安が比較的良いところのため、子どもたちは犯罪慣れしていなく、むつ下北地区から外に出た時に、ものすごく心配です。自分の子供たちに聞いても、とりあえずスマートフォンでそういう人たちと連絡をとらないようにするとか、どこか遊びに出かけた時も繁華街裏の方に行かないようにしている、と言うのですが、どこでどういう繋がりを持ってしまうのか、こちらでも本当に心配しています。教育現場として、外部のそういうことに詳しい方々を外部講師として呼んで、子どもたちに啓発活動していただければなと思っていました。

→ [回答(校長)]

今年、スマートフォンに関しては、かなり生徒指導部が力を入れて、警察と県教育委員会と連携して、講演していただいております。保護者・教員向けのものは年度初めに1回実施をして、生徒向けのものは年度初めに1回と、夏休み直前にも1回やる予定でいますので、例年よりは回数を増やし、その内容を工夫していただいて、対応していきたいと思います。

学力の幅について、元々差がある学校だと思っていたのですが、確か昨年度末に特進1組をやめるという話を伺い、一方で進路希望調査をすると国公立大学を志望する生徒がいる現状の兼ね合いというか、上位者だけ集めるのが良いのかは分からないのですが、今年度始まったばかりだと思うので、進路状況も含めて注視してほしいなと思っています。

→ [回答(校長)]

今の2年次がもうすでに特化クラスを廃止して、特化クラスは今の3年次が最後です。この特化クラスは、入試の時のたった1回の成績で、本人の進路希望とかを聞かずに、入試の上位の子たちを1クラスにして、授業を展開していました。今の2年次からは、1年次の時から全てのクラスに優秀な子もそうじゃない子もいて、クラス全体で学んでいくという体制をとっております。ただ、進路は本当に多岐に渡りますので、今の2年次が2年次になる時には、成績ではなく、進路希望でのクラスを編成しております。ただし、これから3年次になる時に自由に学ぶ科目を選択します。そこで入試に必要な科目を選択した人たちが、自然と同じ授業をとっていくような、そういう仕組みをつくって対応しています。

何か月か前にニュースになった恵泉女学園が学生の募集を停止するニュースについて、娘が進学して卒業した実践女子大学の短期大学部の学生も募集を停止しますというのがあり、これからだと18歳人口の減少や、共学思考、短大よりも四大を志望するという流れが続いていき、いわゆる女子大の短期大学辺りを中心に募集を停止、再編、閉校があると思います。娘は1年次に、この学校と決めたタイプで、たまたま高校3年間でなくなることがなかったから良かったのですが、今後も統廃合とかの動きが加速してきた時に、早期に進学先を決めたのに、希望する学校がなくなることが起こらないように進路指導の先生を中心に支援をお願いしたい。ホームページとかを、子どもたちがちゃんと自分で見ればいいのですが、その学校のホームページを見ると割と小さく書かれていたりするので、もしこれからそういう動きがありそうな学校についても見ていただければと思います。

④学校評議員 A

会社の方でも個人でスキルアップということで、ICTを使って自分で自己革新をして、それを評価するという教育もありますので、ICTで進学校の授業を見られるということになると、経済的な理由で塾に通うことができない子に対しても格差を埋めるツールになってくるのかなと思います。今の高校生は、中学

生の時から大変な思いをしていると思うので、スクールカウンセラー等の力を借りながら頑張ってもらいたいと思います。キャリアデザインについては、必要な科目をとって、受験に備えるという形だと思うのですが、大多数が漫然と過ごしているのでしょうか。今の若者の世代は、上昇志向がなく、安定感や普通の生活を求める志向が強く、何になりたいという希望を持つ生徒はごく少数だと思います。コロナ禍でコミュニケーションが難しい中ではありますが、5分間講話などみんなの前で話す自己表現の機会を設定し、コミュニケーション能力や発言力を伸ばしていただけると良いのかなと思います。社会には色々な仕事があって、様々なことができるように、生徒に様々な成功体験や、達成感を与えることを目標にしていきたい。

7 大湊高校スクール・ミッション及びスクール・ポリシーとグランドデザインについて【教頭より】

スクール・ミッションとは青森県教育委員会から県立学校の方に、目標を立てて、学校として教育活動をしてほしいということで与えられているものです。大体昨年10月ぐらいに決まりまして、それを基に今度はスクール・ポリシーということで、3つのポリシーについて各校で検討し、そして地域に対して公開して欲しいということでもあります。このスクール・ポリシーの方は特に地域の方々、この学校評議員の先生方のご意見も踏まえながら、策定いたしました。昨年の学校評議員会の議題として取り上げさせていただき、ご意見を頂戴し、このような形で本校のものを決めさせていただきまして、そしてホームページ上でも公開しているところでございます。今年度3月に入学を希望する中学生もこのスクール・ミッションやスクール・ポリシーというものを参考にしながら、本校の受験を考えていくというようなものになっています。このスクール・ポリシーを図案化したものということで、本校のグランドデザインを若手の先生方中心のプロジェクトチームで作成しました。現在、このグランドデザインを案として、7月に県教育委員会の方に提出する予定でございます。

もし何かありましたら、教頭に直接でもお電話でも御意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

8 校長謝辞

今日は本当にありがとうございました。頂いた御意見、御質問のどれもそうだな、と思わされるようなものでした。御質問いただいて、先生方が答えながら、先生方も自分の中で言語化することで、また再認識をし、本当に学校経営においては非常に貴重な機会となりました。ありがとうございました。そして学校評議員会は年に数回ですが、これから7月19日には生徒の課題研究発表会で、1人1人ポスターセッションという形で発表します。文化祭も大々的に人を入れてやる予定です。様々な学校行事の折に、また御案内を致しますので、ぜひ今日の授業もそうですが、生徒たちの活躍を見ていただいて、また様々な御提言をいただければと思います。どうか今後ともよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

9 閉会